TSP for epicenter

1. 生データから50件ごとにデータを切り出す。変更箇所

awk 'NR >= 1 && NR<=50{print}' TochigiNorth.dat > data\_50/0001-0050.dat

1. 緯度経度のデータをxy座標に変換

TochigiNorth/TransCoordRoop.fの21-23行目、ファイル名、データ数を変更

1. ‘Gfortran TransCoordRoop.f’でコンパイル
2. ‘./a.out’で実行

../data/0223.xy(x y のデータ形式)が出力される

1. data1\_t.txtを編集
2. 対立遺伝子上限を49(データの数-1)の値にする
3. 最大遺伝子長を50(データの数)にする
4. data2\_tを編集
5. 出力ファイル名を変更
6. 都市数をデータの数にする
7. 0223xy.xyを９行目以降に記入
8. txt,data\_ct.txtを編集

（ケースを増やして計算したい場合に編集）

1. ‘python main.py data\_ct.txt’をターミナルで実行
2. データのコピー
3. Xy座標のデータ→tmp\_org.dat
4. 0223.txtの最後の世代のデータ→tmp\_mod.dat　にコピー
5. Plot\_dat\_mod.gmtの編集
6. 軸の値、出力ファイル名などを編集
7. ターミナルで’csh plot\_dat\_mod.gmt’を実行
8. png図が出力される